

江東未来会議
第4分科会（まちづくり・環境分野）
第2回 議事概要

日時：平成19年10月11日（木）19:00～21:10

場所：第72・73会議室

参加人数：17人

1. 開会

2. 事務局からの連絡事項

（1）配布資料の確認

（2）渋谷コーディネーター紹介

3. 本日のワークショップの進め方について

【事務局より資料説明】

○参加者

- ・先日中央防災会議から大地震の被害予測等が公表された。しかし、区の防災対策、防災計画が分からない。いろいろな論点があるが、まず皆で、大地震から区民をいかに守るか討議すべきだと思う。区の真剣さが足りない。
- ・それは、個人のテーマを発表する場で提案してほしい。いろいろな考え方をを持った人が集まっており、時間も限られている。

○渋谷コーディネーター

- ・2つのご意見をいただいた。1つは、防災のような重要なテーマについて優先的に議論すべきというご意見、もう1つはグループごとに重要な議題を議論し、それから全体で議論すべきというご意見である。他に意見のある方はお願いしたい。

○参加者

- ・震災対策が喫緊の課題と思う人は、その人達で集まって議論すればよいと思う。
- ・本日の議論の中で防災が重点テーマとして絞られていけば、同じテーマを重要と考える人同士で議論することになる。

○渋谷コーディネーター

- ・今日は、幅広くまちの問題をあげていただき、グループごとに重要なテーマについて合

意してもらいたい。

- ・そこですばずは、自分が重要だと思うテーマをグループ内でアピールしていただきたい。
- ・全員が意見を書き出した後、グループ内で議論して、重要だと思うテーマをとりまとめてほしい。1つに絞り込む必要はない。今後も、行きつ戻りつしながら議論を進めていくことになる。

4. ワークショップ

(1) 作業

3グループに分かれ、個々人が、まちづくり・環境分野における江東区の魅力（良いところ）と問題点（悪いところ）を付箋紙に記入した。その後、付箋紙に記入した内容を模造紙に貼り付けながら議論を行い、関係性の高い意見をグルーピングした。そして、グループごとにタイトルをつけ、重要だと思うテーマを2～3つ抽出した。

【グループ毎に作業】

(2) 発表

【作業結果】詳細は別紙（「第2回江東未来会議 まちづくり・環境分野」グループ別取りまとめ）参照

○Ⅰグループ

- ・大きく3つに分類した。「景観・観光」、「開発」、「安全・安心のまちづくり」である。
- ・景観・観光については、下町の景観や水辺の良さなど肯定的な意見が多い。
- ・開発については、便利になった一方で、江東区らしさが薄れるという不安が現れている。全般的に問題点が多い。例えば、人口増や来訪者増による通行ラッシュが指摘されている。ただ、これらの地域はアクセスが良いという面もある。
- ・安全・安心のまちづくりについては、埋立地が多く災害に対する漠然とした不安があり、その解決策が具体的にイメージできないことが問題であるとの意見である。

○Ⅱグループ

- ・7つに大きく分類した。そのうち、意見が多かった4つを重点テーマとしてあげている。
- ・意見が最も多かったものが水辺についてである。水辺の環境を活かしていくべきという意見が多く、全般的に魅力を伸ばしていくべきという方針である。例えば、自転車道のバリアフリー化や、横断的な自転車道ネットワークの充実などがあげられている。
- ・他の3つは問題点の指摘が多い。1つは、防災対策の中の震災対策である。建物の耐震化もあるが、避難先の対応などの二次災害の防止があげられている。
- ・交通については、南北の交通、自転車道の充実があげられている。公共交通が弱いとも

指摘されている。豊洲では道路が良くなったとある。

- ・温暖化については、環境問題の側面と防災の中の水害という側面がある。水辺に近いことが魅力だったが、その裏返しとして、取り組むべき治水対策があるという意見である。
- ・重点テーマ以外では、景観については、江東区を象徴する景観がない、高層マンションが多いのでコントロールすべきではないかという意見である。また、コミュニティについて、文化施設や区民農園等が多いという魅力と、区民の交流が薄いという問題点があげられている。その他、たばこのポイ捨てが多い、治安などの問題点があげられている。

○Ⅲグループ

- ・大きく3つに分類した。「交通」、「防災」、最後に大きく「まちの魅力」としてまとめた。
- ・交通については、道路整備と交通網があげられ、特に後者の問題点が多い。道路整備は、歩道や橋の整備に対する意見が多い。交通網は新市街地と旧市街地との交通網が整理されていないという意見が多い。また、水上交通を整備すべきという意見がある。
- ・防災については、洪水や水面上昇による水害、震災対策が不十分という指摘である。
- ・まちの魅力については、中心となるのが水辺で、魅力ある運河や水路を大切にしていきたいという意見である。また、きれいな町にしたい、まちの個性や魅力を高めたいという意見がある。さらに、新市街地と旧市街地や水辺空間を活かして、観光都市としていきたいという意見があがった。

【全体議論】

○渋谷コーディネーター

- ・同じような意見も多いが、独自の意見もみられる。率直に江東区の一番の魅力は何か。

○参加者

- ・水辺についての意見が多い。現在も整備されているが、さらに整備されると良いという意見が相対的に多い。区政の成果という面もあるし、自然の恵みという面もある。

○渋谷コーディネーター

- ・防災等の問題点もあるが、全般に水辺の景観や自然が良いという意見があり、魅力の方が勝っているという認識で良いか。
- ・では反対に、江東区の問題点は何か。

○参加者

- ・全体をざっとみると、問題点が多いテーマは、防災と交通に集約されていると思う。
- ・防災は素人には分かりにくい分野なので、この地域の安全性はどの程度なのかなど、専門家に一度説明してほしい。

○渋谷コーディネーター

- ・専門的な議論は、審議会等で行われるだろう。ここは、区民の率直な意見として、何が重要かを指摘する場だと思う。そのような声をぶつけることに主眼を置きたい。

- ・ここまでを整理すると、魅力として水辺の景観や自然があげられ、問題点として震災時に防災対策、交通の利便性があげられている。交通は、Ⅲグループで道路整備と交通に分けて整理されている。

○参加者

- ・バスの運行状況が以前から変わらない。解決には東京都との調整が必要となってくる。
- ・同じ区なのに一体感が無いと思う。埋め立てで江東区が広がっているが、本来北部と一体として開発を進めていくべきである。区の一体感は重要である。
- ・廃線となった貨物専用線が放置されているので、その有効利用で南北の交通を良くしたい。小名木川の貨物駅跡地あたりは住宅と商業地になっているが、亀戸まで伸ばせば南北がつながる。葛飾区水元あたりは人口が多い割に交通が不便である。南北がつながれば、足立区、葛飾区、江戸川区、江東区と下町を結ぶ交通網ができる。貨物専用線の敷地は4車線を通すことができる。
- ・京成電鉄も金町線と結ぶことができれば、歓迎すると思う。
- ・貨物専用線が使用されない理由として、区が貨物専用線の活用について調査した結果、可能性はあるが予算も必要なので先延ばしになり、それよりも住吉と豊洲の間の地下鉄整備が優先されたいきさつがある。

○渋谷コーディネーター

- ・鉄道を通すのに費用がかかるならば、まずは歩行者専用道路としてでも使用してはどうかという意見もある。
- ・現在出ている意見は、水辺、防災、交通と大きく3つがあげられている。

○参加者

- ・一番大きなテーマとして温暖化は忘れてはならない。水辺でも交通でも、温暖化を念頭に置きながら検討を進めてほしい。

○渋谷コーディネーター

- ・それでは、3つのテーマで分かれて議論し、最後に環境面からチェックをすることとし、グループでの議論の際にも環境面を念頭において進めることとしたい。

5. 次回の進め方

○渋谷コーディネーター

- ・次回は、水辺、防災、交通の3つのテーマに分かれて、より深く議論していただくこととする。議論の際には環境面に配慮することとし、かつ最後に環境面からの確認を行う。その他の意見をどう活かすかは、次々回あたりで議論することとしたい。
- ・この場で、テーマ別の参加意向を確認してみる。(テーマ別に参加意向を挙手)
→水辺：5人、防災：6人、交通：4人

○参加者

・チーム編成はメンバーを変えずに、掘り下げて議論していく方が良いと思う。

○渋谷コーディネーター

・複数の議論に関心のある方もいる。次回議論して、進め方はまた考えることとしたい。

○事務局

・次回以降はテーマ別に分かれて関心のある方同士で議論いただくので、本人の意向が変わらない限り、事務局としてグループのメンバーを変更することは考えていない。

○参加者

・縦割りで議論されがちなので、全体調整に時間を割いてほしい。

○渋谷コーディネーター

・随時、時間があれば全体討議を行うようにする。

○参加者

・交通は居住地によって意見が異なると思う。また、貨物専用線は大空襲時に一時避難場所として活用された経緯や、民間所有地であり、利用は容易ではないと思う。

○渋谷コーディネーター

・区民1人では解決できないことでも、声をあげて区政を動かすことが重要である。今からあきらめることはせずに、声をまとめる方向で議論を進めていただきたい。

(以上)